

日本聖公会 神戸教区報

神のおとずれ

2012年
3月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
http://www.nskk.org/kobe/

発行責任者
司祭 芳我 秀一

印刷所
文明堂印刷所

大齋節を迎えて

「救い」と「滅び」の危機意識

司祭 ミカエル 小南 晃

「悔い改めて、お前たちのすべての背きから立ち帰れ。罪がお前たちをつまずかせないようにせよ。お前たちが犯したあらゆる背きを投げ捨てて、新しい心と新しい霊を造り出せ。イスラエルの家よ、どうしてお前たちは死んでいだろうか。わたしはだれの死をも喜ばない。お前たちは

東日本大震災

昨年、大齋始日の翌々日、3月11日(金)に東日本大震災が発生。被災状況がどうなっているのか、いったいどれほどの方々が犠牲になったのか、ほとんど何も把握できないままに、とにかく未曾有の悲劇、災害が起こったことに慄然としながら、大齋節が始まったことを思い出します。



しかし、あの大きな悲劇と犠牲を前にして、人々の考え方が、多少変わってきたというところ、何が本当に大切なのかを、より真剣に問うように

なるとも言われています。多くの尊い命が失われた中で、命の大切さ、人との絆や家族の大切さを改めて悟り、若者では結婚を望む者が増えたとも言われました。

喉元過ぎれば

しかし、私たちが人間の弱さには、こうした記憶を忘れる点にありまます。喉元過ぎれば熱さを忘れるのです。勿論、愛する人々を失った方々、被災

大齋節の恵み

今、私たちが迎えている大齋節は、今一度、私たちの信仰生活を振り返り、それを正しく軌道修正しようとする時です。

し、全てを失った人々にとっては到底忘れることなど出来ないでしょう。しかし被災していない者にとって、どうしても悲劇の記憶や危機意識は時と共に薄れて行きます。それを防ぐ手立てとして、こうした記憶を思い起こす営み、即ち追悼行事、祈念礼拝が大切になるでしょう。

共にご心に向う「大齋節」を過ごしましょう。

(神戸昇天教会牧師)

何かを学んだと言うには余りにも大きな犠牲ではありませんが、この悲劇の体験から、私たちが新たな道へと歩み出すことが出来るならば、尊い犠牲を空しくしない生き方へと導かれるのではないでしょうか。

しかし私たちが、ともすればその危機意識を失いがちです。本来は、信仰生活には、それを思い起こすための様々な手立て、道筋、方法が備えられています。日々の祈り、主日礼拝、聖書のみ言葉に親しむことなどです。しかしそれらが、形骸化してしまえば、その力も弱まってしまいうほかありません。

私たちはこの救いの道を、主イエスのみ跡を踏んで進むことに努めるのです。

また、福島第一原発の重大事故発生によって、原発の安全神話が崩れ、人間の技術力過信や高慢さが打ち砕かれ、謙虚にさせられたのではないでしょうか。

「申命記6・16」―主なる神を試すとは、自分の立ち位置を、主なる神よりも上に置くことです―、そして「あなた

の神である主を拝み、ただ主に仕えよ」―主を拝み、主に仕えない時、私たちは偶像崇拜に陥り、悪魔を拜むことになるのです―、と明らかに示して下さいました。

「申命記6・16」―主なる神を試すとは、自分の立ち位置を、主なる神よりも上に置くことです―、そして「あなた

の神である主を拝み、ただ主に仕えよ」―主を拝み、主に仕えない時、私たちは偶像崇拜に陥り、悪魔を拜むことになるのです―、と明らかに示して下さいました。

「申命記6・16」―主なる神を試すとは、自分の立ち位置を、主なる神よりも上に置くことです―、そして「あなた

米国聖公会総裁主教 広島来訪

〜 広島平和公園にて献花 〜

2月14日(火)午前、米国聖公のキャサリン・ジェファー・ツ・シヨリー総裁主教様が、アジア歴訪の途中で、平和都市広島を訪問されました。広島に到着後、カトリック職町教会の「世界平和大聖堂」を訪問、見学された後、昼食のために、広島復活教会へ立ち寄られました。

また平和資料館も見学されました。

午後、広島空港から、東日本大震災被災地の東北仙台へ向かわれました。



その後、平和公園に向かわれて、原爆記念碑に献花をされ、広島平和文化センター理事長ステイブン・リーパー氏を表敬訪問されました。



宣教協議会ワークシートについて

倉敷聖クリストファー教会 バルナバ 上 野良 雄

各教会の皆様は、信徒総会に向けて、宣教ビジョンの作成のため、作業中だと思えます。当教会での作業状況を、ご参考までに報告いたします。

倉敷聖クリストファー教会の周辺について

当教会は、JR倉敷駅から車で約二十分の、倉敷市のほぼ中心部に位置し、岡山バイパスのすぐ傍に在り、水島方面からも、倉敷市郊外からも約三十分程度の距離にあります。

周りには水島工業地帯の大企業の社員住宅、一般住宅、アパート等に取り囲まれている住宅地となっています。建物、敷地は元銀行ということもあって、広く、駐車場は約十五台駐車可能で現在、中国語教室にも開放しています。

ワークシートについて

各教会とも色々な意見はあると思いますが、我々の教会では指定の用紙を使用しました。この用紙は、大きく分けて四つに分類されています。こ

これらの設問は、教会の現状を知る上で非常に有益と考えています。また設問は、アンケート形式で、各人が無記名で答える形式を取っており、本音を知ることができたと思っています。

アンケートの結果

質問1 できたばかりの教会で知名度がない。多くの人が参加できるイベントが必要。

質問2 なっていない。教会を取り巻く人々が参加できるイベントが少ない。

質問3 未自給教会であり、これを解消する為にも、少なくとも十名の信徒を増やします。

質問4 定任教役者がいて、自給し、活き活きと活動するためには、年間約六百万の収入が必要。という結果が出ました。

では何をすればいいのでしょうか

この結果を基に皆で話し合いの場を持ちましたが、残念ながら、何をすれば最適であ

るといふものはありませんでした。

それならば、逆に、思いつくことを次から次へと企画し、実行するしかないというのが結論といえ結論です。

つまり、教会を取り巻く人々に、教会は何をする所なのか、また教会では何をしているのかをまず理解してもらおう為に、参加しやすい企画を考え、実行する。その後で、この企画は、目的に合っていたのかどうかを皆で反省し、合っていないれば止めて次を考える。この繰り返しを続けるしかないのではないのでしょうか。

またアンケートの結果として判った事ですが、我々信徒の持っている教会、神様への思い、イメージは各人各様に違うということです。

教会ではよく心を一にしてという言葉聞きますが、今回のように統一のビジョンを掲げ、それを基にして、他の人々に自分たちの思っていることを伝える為には、自分達の持っている様々なイメージの違いをなくし、心を一にする必要があると感じました。つまり我々信徒もあらゆる機会を捉え、研修を重ねる必要があるのではないのでしょうか？

東日本大震災関連情報

小名浜聖テモテ・ポ ランティアセンターの 1月の活動について

小名浜聖テモテ・ポランティアセンターは、京阪神3教区が、1か月ごとに、同センターへ現地調整者を送って活動しています。

1月は神戸教区が当番ということ、年末から、坪井智執事、続いて池澤隆輝聖職候補生、原田佳城司祭及び京都教区の藤原健久司祭、小南晃司祭、芳我秀一司祭がほぼ1週間づつ、現地調整者として同センターに参りました。この間、各地からのボランティアが同センターにて活動されましたが、浜田から平野一朗司祭、福山の友野正信兄、また姫路や神戸から男女の信徒4名が活動されました。

友野兄は、1月半ばから1か月、同センターに滞在され、大阪教区に引き継ぐまでの現地調整者を担当されました。この間の同センターの主な活動は、福島原発事故で避難を余儀なくされている方々の

住む仮設住宅での「ほっこりカフェ」、またお正月の餅つき大会などのイベントですが、こうした活動は仮設住宅に住む方々が、互いに交わりを深めて、コミュニケーションを形成していくための支援と言えます。

昨年からの活動している泉玉露仮設住宅に続いて、今年に入って、渡辺町屋野仮設住宅でも「ほっこりカフェ」を始めています。

また現地の方々、また仮設住宅の方々も活動に参加されています。所期の目的を果たしつつあります。今後とも同センターのためのお祈りとご支援をよろしくお願いします。



渡辺町屋野仮設住宅で開始された「ほっこりカフェ」。1月19日の初回に10名来場されました。

阪神淡路大震災一七年

震災は心災

司祭 マルコ 藤井 尚人

あの震災から17年、教区主催の「阪神淡路大震災17周年追悼礼拝」が、毎年、被災地・神戸が祈りに包まれる1月17日(火)に、神戸聖ヨハネ教会(阪神淡路大震災復興記念聖堂)で捧げられました。

震災発生時(早朝5時46分)には、黙想による「追悼の祈り」と点鐘。午前10時半からの追悼聖餐式は、中村教区主教の司式のもと、神戸伝道区聖職団が補式を務め、奨励者として語って下さった吉村誠司さん(NGO ヒューマンシールド神戸代表)は、「最初に救えた命は大一匹でした」と、昨年3月11日以降の東日本大震災被災地での活動を話し始められ、その中で、「神戸方式、つまり阪神淡路大震災での経験が役に立ちました」と話されました。



『震災は心災』と語られる、奨励者の吉村誠司さん。

ポランティア元年と呼ばれた1995年の阪神淡路大震災の時、吉村さんは、地震発生4日後に、現地入りをし、長田区で支援活動を展開されました。(もっと早く現場に

東日本の被災地のある漁師さんの気がかりは、津波の後、先ず海が生きているかどうかだったそうで、顕微鏡で三陸沖の海水の中に牡蠣の卵が見つかった時の「海はまだ

生きています」という喜びの言葉は今でも忘れられない、とのことでした。

「今の被災地では、震災は心災と言っていると思います」と、大津波の後に沢山の遺体を運び続けた方が、最近になって語り始められた深い心の傷の問題。

そして、つい最近、男鹿半島で投身をしたある看護婦さんのお話は、「助ける側と助けられる側、双方に関わる様々な問題」について参加者一同、祈りのうちに深く考えさせられる現地からの報告でした。

「いつまでも、忘れることなく心のスイッチをオンにしながら続けて欲しい」と語られる吉村さんの奨励は、同兄自身も捧げられた静かな祈りをもって終えられました。

吉村さんが企画し、福島の子どもたちを集めて開催されたキャンプでのこと、子どもたちが大人に訊ねた「外で遊んでいいの」というその言葉を、私たちはどのように受けとめればいいのか。

キリストの平和

(神戸聖ヨハネ教会牧師)

鳩だより 《敬称略》

祝 堅 信

12月18日(日)
 マツテヤ 木村 亮
 マタイ 木村 晋太郎
 洲本真光教会

第1回伝道区会報告

神戸伝道区

日時…1月9日(月) 11:00
 場所…明石聖マリア・

1. 伝道区説教者交換
 実施日…6月17日(日)
 マグダレン教会

2. 伝道区主催の「子どもプロ
 グラム」を夏に実施する。

3. 伝道区会計担当者の集いを
 何れかの第5日曜日に実施す
 る。

4. 伝道区協賛小名浜支援バザー
 収益と献金は福島県の4教会・
 幼稚園に送金する。

5. 伝道区諸役員の決定。
 6. 次回伝道区会は10月7日
 (日) 14:00から明石で開催。

瀬戸内伝道区

日時…1月14日(土) 11:00
 場所…倉敷

1. 伝道区信徒修養会
 日時…9月14日(土) 11:00
 聖クリストファー教会

担当…福山諸聖徒教会
 会場…加久清一郎邸

内容…野外礼拝、学習等。
 会費…1000円

2. 伝道区費
 今年度は現在受聖餐者一人
 当たり500円とする。

3. 伊神 努司祭は3月に退職
 のため、4月より角瀬克己司
 祭が伝道区長となる。

山陰伝道区

日時…1月8日(日) 13:00
 場所…松江キリスト教会

1. 山陰伝道区修養会
 日時…10月13日(日) 14日
 日程…10月13日(日) 14日
 (土) 会場は未定。
 講師…東京教区主教
 大畑喜道神父。

徳島伝道区

日時…1月9日(月) 10:00
 場所…徳島聖テモテ教会

1. 伝道区諸役員の決定。
 2. 3月に各教会で宣教協議会
 3. 伝道区研修会
 日時…9月29日(土) 10:00
 会場…インマヌエル教会
 テーマ…よりよき終わりのた
 めに「エンディング
 ノート」

4. 日曜学校行事(例年通り)
 5月:ピクニック。
 8月:キャンプ。
 10月13日(土):合同運動会。

5. 説教者交換…5月27日に実
 施。
 6. 次回伝道区会は10月開催。

西四国伝道区

日時…1月9日(月) 10:00
 場所…松山聖アンデレ教会
 1. 4月から柳本博人司祭が松

山の牧師、大洲聖公会の管理
 牧師として着任し、伝道区長
 に就任する。

2. 昨年度の伝道区会計は赤字
 となったが、その理由は伝道
 区外の聖職への交通費が多かっ
 たため、こういうケースに
 対して教区からの補助が得ら
 れるのかどうかを問い合わせ
 る。

3. 修養会について
 秋に開催。日程は調整中。

場所は愛媛県・禰原の信徒が
 営業する民宿。経費は参加費
 で賄い、講師への謝礼・交通
 費を賄うために宣教活動費を
 請求したい。

4. 4月以降の伝道区の体制に
 ついて

- ① 大洲聖公会の礼拝は、月2
 回、柳本司祭の司式で守る。
 大洲の復活日礼拝は佐藤司
 祭にお願いする。
- ② 財政委員…野本忠江姉。
- ③ 新居浜教会跡地の管理につ
 いて教区事務所と協議

4月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2012年4月5日(木) 午前10:30
 場所 神戸聖ミカエル大聖堂
 司式 主教 中村 豊
 説教 司祭 與賀田光嗣

* 4月の記念逝去教役者*

1日	執事	パウロ	中村	四朗
2日	司祭	パウロ	鈴木	尚大
2日	司祭	ヨハネ	小南	ち彖
5日	伝道師		岡井	八郎
7日	伝道師		億川	與吉
11日	司祭	パウロ	広瀬	
11日	宣教師	メアリー	サンダー	
13日	伝道師		井上	トヨ
13日	司祭		荒砥	琢吉
15日	司祭	ペテロ	山内	豊耕
15日	司祭	ジョン・カメロン	小池	マクドナルド
16日	伝道師		鶴野	瑛治
17日	司祭		堀	六ゆき
19日	司祭	ジョージ・ノエル	高山	ストロング
19日	伝道師		入交	源治
22日	司祭	トマス	村田	幸雄
23日	司祭	マリア・マグダレン	神崎	幸雄
23日	伝道師		瀬山	
25日	司祭	ヨハネ		
28日	主教	ジョン・バシル		
28日	主教	ジョン・チャールズ		

一 逝 去

1月24日(火)
 ローレンス 林原 正昭(63歳)
 米子聖ニコラス教会

教 籍 移 動

1月20日(金)
 ルデア 春木 望
 大阪教区守口復活教会より
 松江基督教教会へ

3月4日(日)

聖公会生野センター のための日

同センターの働きのため
 にお祈りください。